

牧師室から (2021.10.3)

いよいよ今日から、また教会で皆様と共に礼拝を献げることができる。およそ2ヶ月のブランクがあったが、新しい気持ちで再出発したい。29日には日本で自民党新総裁が選出されたが、ドイツでもその前の26日には総選挙が行われ、メルケル後の新たな首相に引き継がれることとなる。その他、アフガニスタンやミャンマーの内政問題や北朝鮮のミサイル発射など、コロナ禍にありつつも、この秋、世界は動いている。

今日10月3日は、31年前に東西ドイツが再統一して新たな歩みを始めた日である。爾来私は毎年この日になると、戦後に分断された国の再統一を思い起こす。ベトナム、ドイツは既に統一されているが、隣の朝鮮半島は一体いつになるのだろうか。東西ドイツの再統一については、教会の草の根の運動が大きく貢献したことが知られているが、それを思うときに、韓国と北朝鮮の統一についても、何かしら教会ができることがあるのではないかと考えている。

勿論教会の使命は何よりも福音を伝えることにあるのだが、さりとて社会問題に全く無関心になるべきではないし、無関係であり得ない。それゆえ、まずその国を憶えつつ祈りをささげ続けることは大事であると思っている。その真摯な祈りの内に自分自身や教会ができること、或いはすべきことが上から示されるのではないであろうか。

(鈴木淳一牧師)